

原点に戻り、withコロナ時代のMICEをシミュレーション!

新型コロナウイルス感染予防のために、
 新たな MICE 運営を求められている MICE 業界では、
 全国各地の MICE 関係者 (PCO、施設、自治体、コンベンションビューロー) が
 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿って、
 with コロナ時代の運営の実証実験を行います。
 今回はハイブリット運営として、リアルとオンライン会場を用意し、
 それぞれの地域毎に検証します。学会・展示会主催者、
 インセンティブご担当者、MICE 関係者は、ぜひご参加ください。

国際基準で「安心」を提供できる運営を目指して ——

MICE フューチャー・アクション 新たな日本の MICE ショーケース

札幌 | 仙台 | つくば | 東京 | 静岡県東部地域 | 名古屋 | 富山 | 大阪 | 岡山 | 松山 | 沖縄
 <他都市も参加予定>

全国各地で同時開催!

(一部地域は日程が異なります。プログラム、参加登録方法など詳細は裏面をご覧ください)

7月24日 金・祝

13:00 - 18:00
 (開場 12:30)

https://www.japan-convention.net/mice_future_action_2020/

【主催】

日本コンベンション研究会「MICE フューチャーアクション」実行委員会

【協力・後援】

観光庁、日本政府観光局 (JNTO)、一般社団法人日本コンGRESS・コンベンションビューロー (JCCB)
 一般社団法人日本コンベンション協会 (JCMA)、MPI Japan Chapter、国際会議協会 (ICCA)

MICE FUTURE ACTION 2020

MICE
フューチャー・アクション

新たな 日本のMICE ショーケース

■基調講演 「新しい国際会議・MICEのあり方とは」
講師：出口治明（立命館アジア太平洋大学学長）



■プロフィール
出口治明（でぐち はるあき）
立命館アジア太平洋大学学長、学校法人立命館副総長・理事。
1948年三重県美杉村（現・津市）生まれ。1972年京都大学法学部卒。
同年日本生命保険相互会社に入社。ロンドン現地法人社長、国際
業務部長を歴任。2005年東京大学総長アドバイザー、2007年早稲
田大学大学院講師。2008年ライフネット生命保険株式会社を創業、
代表取締役社長に就任。2010年慶応義塾大学講師。2013年～2017
年ライフネット生命保険株式会社代表取締役会長。2018年1月立命
館アジア太平洋大学学長に就任。
2017年第33回「企業広報賞」選考委員会特別賞（一般財団法人
経済広報センター）受賞。主な著書に『僕が大切にしてきた仕事
の超基本50』（朝日新聞出版 2019年）、『「おいしい人生」を生
きるための授業』（PHP研究所、2019年）など多数。「『還暦から
の底力 歴史・人・旅に学ぶ生き方』（講談社）は、トーハンの
週間ベストセラー新書部門で第1位となっている。

■メイン会場：六本木アカデミーヒルズ 49階
タワーホール

（敬称略）

7月24日（金・祝）タイムテーブル *プログラムは変更になる場合があります。

12:00	受付登録開始	
12:30	開場	
13:00	開会	
	呼びかけ人代表挨拶	日本コンベンション研究会 会長 石森 秀三 （北海道大学観光学高等研究センター 特別招聘教授）
	ご来賓挨拶	観光庁 国際観光部長 金子知裕
13:10-13:30	開催地主催者挨拶 & プログラム等説明	【開催地毎に行います】
13:30-14:10	基調講演	APU立命館アジア太平洋大学 学長 出口 治明 「新しい国際会議・MICEのあり方とは」
14:10-14:15	メッセージ1	MICEアンバサダー 山極 壽一（日本学術会議会長、京都大学総長）
14:15-14:25	メッセージ2（ビデオ）	ICCA 前アジアパシフィック会長 葉 泰民（台湾PCO・GIS社社長）
14:25-15:15	パネルディスカッション	「今、インバウンド・MICEの戦略的重要性を考える」 ○モデレーター 北海道大学観光学高等研究センター 客員教授 白井冬彦 ○パネリスト ・セントラルフロリダ大学ローゼン・ホスピタリティ 経営学部 テニユア付准教授 原 忠之 ・日本政府観光局（JNTO）参与、 日本コンGRESS・コンベンションビューロー（JCCB）事務局長 小堀 守
	休憩	
15:30-16:30	エリアシンポジウム	【開催地毎にオリジナルプログラムをご用意しています】
16:30-18:00	全国総括リレー	（オンラインで各地を結びます） 参加各地の動画等による報告 総括 日本コンベンション研究会 会長 石森 秀三 他 進行 日本コンベンション研究会 幹事長 藤田 靖
	閉会	
18:30-20:00	交流会	（一部 オンラインで各地を結ぶ）
	終了	

オンライン参加お申し込み登録

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1591462918BdsGvVvW>

【広報とオンライン参加に関するお問い合わせ】

日本コンベンション研究会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階 公益財団法人札幌国際プラザ 内

TEL : (011)211-3676 FAX : (011)232-3833 Email: info@japan-convention.net

MICEフューチャー・アクション 開催地 一覧

No.		団体名	代表者	実施日		実施体制:		実施内容:		
				7月24日 (金)	それ以外 予定	・連携体制・協力先 その他	・実施会場	住所	展示コーナー	交流会
1	札幌	(公財)札幌国際プラザ	理事長 岸 光右	◎		札幌市 さっぽろMICE推進委員会	札幌コンベンションセンター 札幌パークホテル(交流会)	札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 札幌市中央区南10条西3丁目1番1号	あり	あり
2	仙台	(公財)仙台観光国際協会	理事長 村山光彦	◎		仙台国際センターの運営事業者青葉山コンソーシアムと協力	仙台国際センター	仙台市青葉区青葉山無番地	あり	なし
3	つくば	筑波大学グローバルヴィレッジお茶会ボランティア(仮)	藤田 和子	◎		筑波大学教員(学生担当)、市内古民家レストラン他	風土庵	つくば市遠東398	あり	あり
4	東京	Destination Marketing Organization (DMO)六本木	会長 小笠原正彦	◎		協力:東京観光財団	六本木アカデミーヒルズ タワーホール	東京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ 森タワー49階 アカデミーヒルズ内	あり	あり
5	静岡県東部	静岡県東部地域コンベンションビューロー 静岡県総合コンベンション施設「プラサヴェルデ」	ビューロー会長 紅野 正裕	◎		主催:ビューロー、プラサヴェルデ(姉コンベンションリンクージ)協力(予定) 静岡県、沼津市、沼津信用金庫、静岡新聞社・静岡放送、日本大学国際関係学部、国立高専機構沼津工業高等専門学校、ダイワロイネットホテルぬまづ ほか	プラサヴェルデ(静岡県沼津市)	沼津市大手町1-1-4	あり	なし
6	新潟	㈱アド・メディック	代表取締役 長沼 茂夫	◎		アド・メディック、朱鷺メッセ 他	朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター	新潟市中央区万代島6番1号	なし	なし
7	富山	「新たな日本のMICEショーケースin富山」実行委員会	「新たな日本のMICEショーケースin富山」実行委員長	◎		富山県、富山コンベンションビューロー、PCO、大手町コンベンション	富山国際会議場 ※交流会は別場所・未定	富山市大手町1-2	なし	あり
8	名古屋	(公財)名古屋観光コンベンションビューロー	理事長 杉崎 正美	-	7月22日	共催:名古屋市 協力:名古屋国際会議場 (コングレ・名古屋観光コンベンションビューローコンソーシアム)	名古屋国際会議場	名古屋市熱田区熱田西町1-1	あり	あり
9	愛知	Aichi Sky Expo 活性化推進機構	愛知県観光コンベンション局長 荻沢典幸 他	◎		愛知県、愛知県国際展示場 他	愛知県国際展示場	常滑市セントレア5丁目10番1号	なし	なし
10	大阪	(公財)大阪観光局	理事長 溝畑 宏	-	7月22日	会場提供:ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター 大阪MICEビジネス・アライアンス	ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター	大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館B2F	あり	あり※ 名刺交換程度
11	堺~大阪	(一社)大和ブランド推進協議会	代表理事 奥村 直幸	-	7月5日		事前録画		なし	なし
12	岡山	(公社)おかやま観光コンベンション協会	会長 石井 清裕	◎	-	おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンター、岡山市、コンベンションサプライヤー、岡山県産業振興財団加盟企業(コロナ関連商品展示PR)等	岡山コンベンションセンター	岡山市北区駅元町14-1	あり	なし
13	松山	(公財)松山観光コンベンション協会	会長 一色 昭造	◎		出展企画企業(バンケット施設(ホテル)、設営事業者などを予定)	ホテルメルパルク松山	松山市道後姫塚123-2	あり	なし
14	沖縄	沖縄MICEネットワーク	共同代表 沖縄県副知事 富川 盛武 他	◎	8月21日	沖縄県、沖縄観光コンベンションビューロー 他	万国津梁館	名護市喜瀬1792	あり	なし

日本コンベンション研究会の概要

■名称：

日本コンベンション研究会（和文名称）

Japan Convention Network（略称：JCN）（英文名称）

■所在地：

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3F 公益財団法人札幌国際プラザ内

■代表者：

石森 秀三（イシモリ シュウゾウ）（会長：北海道大学観光学高等研究センター・特別招聘教授）

■創設経緯・沿革：

本会は、2006年10月「国際観光コンベンションフォーラム実行委員会」としてスタート、事業活動を開始、2009年3月に「日本コンベンション研究会」として設立、現在に至っている。

■目的：

本会は、地域を拠点としてコンベンション創造に関わる産・学・官・民を結び、コンベンション等の集客交流のあり方を構想し、新たな理論、技術、人材の育成等を通じて、地域の活性化、自律的な発展に資することを目的とする。

■会員数：

正会員個人20人、正会員団体・企業20社（2020年4月現在）

■集会：

○総会 1回/年

○分科会 3回/年

○幹事会 3回/年

■国際会議の国内開催：

○第4回国際観光コンベンションフォーラム、2010年3月、札幌市

○第5回国際観光コンベンションフォーラム、2011年11月、富士市

■国際会議への派遣：

GMIC（Green Meeting Industry Council）への参加

■国際人物交流等：

GMIC（Green Meeting Industry Council）会長等招聘

「新たな日本の MICE ショーケース - 全国リレーMICE フューチャー・アクション」

MICE future action 2020 **実施報告** (速報版)

2020.8.4

■開催概要

◇開催: 全国 14 の都市・地域が参加、開催

◇日 程: 2020 年 7 月 24 日 (金) (「スポーツの日」) を統一イベントデイとし、24 日を挟む前後を「MICE フューチャー・アクション Week」として実施

◇開催都市・会場:

札幌 : 札幌コンベンションセンター

仙台 : 仙台国際センター

新潟 : 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

つくば : 風土庵

東京 : 六本木アカデミーヒルズ【メイン会場】

静岡県東部地域 : プラサヴェルデ

名古屋 : 名古屋国際会議場 (開催日: 7 月 22 日)

愛知県 : 愛知県国際展示場

富山 : 富山国際会議場

大阪 : コングレコンベンションセンター (開催日: 7 月 22 日)

堺~大阪 : ※動画参加(ちんちん電車沿線にぎわいプロジェクト)

岡山 : 岡山コンベンションセンター

松山 : ホテルメルパルク松山

沖縄 : 万国津梁館 サミットホール (※別途 8 月 21 日も開催)

◇参加者: オンサイト参加 909 名

オンライン参加 1,290 名 (YouTube 閲覧含む)

合計 2,199 名 (7 月 24 日 (金) 開催まで)

■呼びかけ人/主催 : 日本コンベンション研究「MICE フューチャー・アクション実行委員会」

■協力・後援 : 観光庁、日本政府観光局(JNTO)、一般社団法人日本コンGRESS・コンベンションビューロー(JCCB)、一般社団法人日本コンベンション協会(JCMA)、MPI Japan Chapter、国際会議協会(ICCA)

■開催地毎の詳細:

別紙一覧

■事業趣旨

世界各地への新型コロナウイルス感染拡大が進み、未曾有の危機の中にある日本の MICE 産業でも、「行動変容」「あらたな生活様式」が求められ、全国で「感染拡大防止のためのガイドライン」の策定を進めていることから、その取り組みを実践し、アピールするための場として、「新たな日本の MICE ショーケース」を実施しました。

この事業を通じて、関係者それぞれが積極的にガイドラインに取り組み、実証実験することで、課題を見つけ、より安全な環境づくりに努め、日本 MICE を新たなステージへと進めることを目的としました。

実施にあたっては、賛同する地域、団体、施設等を全国に募り、それぞれができる範囲で取り組み、全国一斉に行うという初めての試み。2020 東京オリンピックの当初開会式予定だった 7 月 24 日を核に、前後の日程での開催を呼びかけ、オンライン・リレー形式で繋ぎました。

■開催方法

全国に参加希望する都市・会場を募って実施。開催地は、統一のルールに沿って実践・運営し、地域それぞれが資金、資材等を持ち寄って個々に開催する方式としました。

1)ガイドライン

・安定・安心を担保し国内外にPRするために、JCMAなど業界団体が策定提示した、またはそれぞれの地域・施設が独自に策定したガイドラインに沿った運営を実践しました。

2)運営

- ・会場設営全体を通じて、主催者・関係者に対し、ソーシャルディスタンスなどを実際に見てもらい、意見交換などを実施しました。
- ・一部会場では、展示ゾーンも設置。サプライヤーなどによる感染症対策関連ツールなども展示しました。
- ・7月24日(金)は、オンライン参加及び各会場でのリアル参加並びに全国各会場をZoomで繋ぐハイブリッド運営を実践しました。
- ・今後、動画記録を編集し、運営状況をYoutube、Facebookで配信を予定しています。

3)地域連携

・実施にあたっては、それぞれの地域の行政、コンベンションビューロー、業界団体等関係機関と連携し効率的な展開と波及効果を高めることを目指し、実践しました。

7月24日(金) 全体プログラム

12:30	開場	
13:00	開会	
	呼びかけ人代表あいさつ	日本コンベンション研究会 会長 石森 秀三 (札幌)
	来賓あいさつ	観光庁 国際観光部長 金子 知裕 様
13:10	来賓あいさつ(東京)	一般社団法人日本コンベンション協会 副代表理事 武内 紀子 様
	地域主催者あいさつ等	【開催地毎】
13:30	基調講演	「新しい国際会議・MICEのあり方」 立命館アジア太平洋大学 学長 出口 治朗 様
14:10	メッセージ①	MICEアンバサダー 山極 壽一 様 (日本学術会議会長、京都大学総長)
	メッセージ②	国際会議協会 ICCA会長 James Rees 様
	メッセージ③	国際会議協会 ICCA前アジアパシフィック部会会長 葉 泰民 様
14:30	パネルディスカッション	「今、インバウンド・MICEの戦略的重要性を考える」 モデレーター 北海道大学観光学高等研究センター 客員教授 臼井 冬彦 パネリスト 日本政府観光局 JNTO 参与・日本コンgres・コンベンションビューロー JCCB 事務局長 小堀 守 様 セントラル・フロリダ大学ローゼン・ホスピタリティ経営学部ジュニア付 准教授 原 忠之 様
15:30	エリアシンポジウム	【開催地毎】 詳細 別紙
16:30	全国総括リレー	全国14か所をリレー 総括 日本コンベンション研究会 会長 石森 秀三 進行 日本コンベンション研究会 幹事長 藤田 靖
18:00	閉会	
18:30	交流会	(一部参加地域をオンラインで結ぶ)
20:00	終了	

○会場の様子(東京)



○全国オンラインのバックステージ



○感染症対策の例



■日本コンベンション研究会

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
(公財)札幌国際プラザ内

E-mail: info@japan-convention.net

URL: <http://www.japan-convention.net/>